

休日当番医など(8月1日~9月15日)

地域医療課 ☎27-8572

休日 当番医 9時~17時

8月	6日(日)	山口医院	平作町	24-1811
		永井整形外科	小名浜西君ヶ塚町	54-7722
		呉羽総合病院	錦町	63-2181
	11日(金)	常磐腎泌尿器クリニック	常磐下船尾町	43-1200
		小名浜生協病院	小名浜岡小名	53-4374
		はたの眼科	常磐関船町	42-2040
		高坂脳外科クリニック	内郷宮町	85-0333
	13日(日)	大田皮フ科医院	四倉町西	32-2787
		こじま内科	遠野町	74-1500
		中村病院	小名浜大原	53-3141
	15日(火)	こうじま慈愛病院	錦町	63-5141
		いわき湯本病院	常磐湯本町	42-3188
須田医院		小島町	27-6060	
20日(日)	高坂脳外科クリニック	内郷宮町	85-0333	
	山口医院	平作町	24-1811	
	かしま病院	鹿島町下蔵持	58-8010	
	呉羽総合病院	錦町	63-2181	
27日(日)	常磐病院	常磐上湯長谷町	81-5522	
	ふじい医院	泉町	56-2288	
	榎田病院	植田町	63-3202	
9月	3日(日)	春山医院	常磐下湯長谷町	44-4011
		吉田まさふみ整形外科	平仲間町	24-7600
		石井脳神経外科・眼科病院	小名浜林城	58-3121
	10日(日)	こうじま慈愛病院	錦町	63-5141
		かもめクリニック	草木台	28-1010
		下遠野内科胃腸科クリニック	内郷内町	27-1111
10日(日)	にしやま耳鼻咽喉科医院	泉玉露	56-8733	
	榎田病院	植田町	63-3202	
10日(日)	いわき湯本病院	常磐湯本町	42-3188	

※症状によっては、専門外となる場合もありますので、不明な場合は、当番医療機関へお問い合わせください。

日曜 小児専門当番医 9時~12時

8月	6日	森のこどもクリニック	植田町	38-7227
	20日	しがこどもクリニック	鹿島町久保	58-5505
	27日	あおぞらキッズクリニック	小名浜大原	85-5439
9月	3日	福田小児科医院	平下荒川	22-4272
	10日	相原小児科医院	内郷御殿町	26-5551

※変更となる場合がありますので、事前に当番医療機関または消防テレホンガイド(☎23-0119)へお問い合わせください。市ホームページでも公開していますので、ご覧ください。

休日 診療協力医

【内科】
須田医院(小島町)
8時30分~12時 ☎27-6060

8月 11日、27日
9月 10日

ニュータウン腎・内科クリニック(中央台高久)
9時~12時 ☎46-0606

8月 15日

山口医院(平作町)
9時~17時 ☎24-1811

【皮膚科】
金生皮膚科医院(平三倉)
8時30分~12時 ☎22-2378

8月 11日

【泌尿器科】
常磐病院(常磐上湯長谷町)
9時~15時 ☎81-5522

8月 6日、11日、13~15日、27日
9月 3日、10日

【婦人科】
いわき婦人科(内郷綴町)
9時~12時 ☎27-2885

8月 15日

【眼科】
中央台たなか眼科(中央台高久)
9時~14時 ☎29-1722

8月 6日、20日、27日
9月 3日、10日

西山眼科医院(四倉町西)
8時30分~12時 ☎32-3722

8月 11日

※この他にも休日に診療している医療機関がありますので、あらかじめかかりつけの医療機関などで確かめてください。
※診療の受け付けは、診療終了時間の30分前までとなります。

休日夜間急病診療所【内科・小児科】

総合保健福祉センター隣 ☎27-1208
平日：20時~23時 土曜日：19時~23時
日曜日：14時~18時、19時~23時
祝日、8月13日・14日・15日：9時~13時、14時~18時、19時~23時

※患者・医療従事者間における感染拡大防止のため、新型コロナウイルス感染症・インフルエンザの検査は実施していません。

休日救急歯科診療所

総合保健福祉センター内 ☎27-8620
日曜日、祝日：9時~12時、13時~16時
(受付終了時間15時30分)

県子ども救急 ☎024-521-3790または
電話相談 #8000(プッシュ回線・携帯電話)
毎日 19時~翌朝8時

県救急電話 ☎024-524-3020または
相談 #7119(プッシュ回線・携帯電話)
毎日 24時間対応

●かかりつけ医を持ちまじょう

●「ハムニ」診療はやまじょう

●救急車は適正に利用しまじょう

市民の健康教室

提供・問い合わせ
(-社)いわき市医師会 ☎38-4201



食道がん

食道がんは、喉元から胃までをつなぐ胸の奥の食物の通り道にできるがんです。初期には症状はありませんが、進行すると刺激物摂取時の胸痛や食物のつかえ感などが生じ、更に進行すると栄養障害や声枯れなども出てきます。早期に発見できれば内視鏡で手術可能で、5年生存率は75%以上ですが、転移を生じてしまうと、20%程度まで低下する予後の悪いがんです。

手術は、胃を細長く成形し、胸の中を引き上げ、

形成外科医療録⑤

耳と形成外科

形成外科で扱う耳の病気は、先天性疾患がほとんどです。まず副耳は、耳の前で皮膚が小さく突起した疾患です。放置しても問題ありませんが、手術される場合が多いようです。比較的多い疾患です。

次に小耳症は、完全な耳の形まで至らない疾患で程度は様々です。症状により肋骨を使った再建手術が必要で、聴力障害を伴う場合は耳鼻咽喉科とも連携します。

埋没耳は、耳の形や大きさは正常でも、耳の上部が頭部の皮膚に埋もれてしまう疾患です。軽度の場合は自然と治癒したり埋もれなくなったり、テープや装具などで矯正可能な状態もあります。矯正されない場合には手術で治療します。

先天性疾患ではありますが、ある程度成長してから受診する疾患として耳瘻孔があります。これは耳の前に小さな皮下のトンネル(瘻孔)が残る疾患です。人によっては、細菌を起こし痛みや腫れをきたし、治療が必要となります。

他にも様々な耳の変形がありますが、美容上の治療は保険外診療となることもありますのでご注意ください。

かかりつけ医の紹介・相談は、医師会事務局へ(ホームページURL <https://www.iwaki.or.jp>)

首の食道とつないで食物の通路を再建します。頸部、胸部、腹部の3カ所の操作を要する長時間で侵襲の大きな手術のため、術後合併症が出やすく、社会復帰にも時間がかかります。高齢者や、併存疾患が多い場合は手術を受けるリスクが高いと判断され、放射線治療や抗がん剤治療に変更されることもあります。

かつて日本人の食道がんは、食道粘膜の扁平上皮細胞から発生し、胸部中部に多く、習慣的飲酒や喫煙などがその発生要因とされ、70~80歳が好発年齢でした。近年、食生活の欧米化が進み、肥満や喫煙、逆流性食道炎などが背景となり、胃と同じ腺細胞から発生する食道腺がんが増えつつあります。食道腺がんは胃と食道の接合部近くに生じ、比較的若年にも発生し、発見が遅れて予後は悪い傾向にあります。

食道がんにならないためには、飲酒の制限、禁煙、欧米型の食生活の見直しが勧められます。また、早期に発見できれば完治も可能なため、発生リスクが高いと判断されれば、定期的な検診を受けることが効果的です。

けんこうQ&A 循環器科⑤

「心不全」を理解し、防ぎ、守り、共に生きるために知っておくべきこと

Q 心房細動と言われ、血液をサラサラにする薬を使った治療が開始されました。心不全は心配ないと言われたのですが大丈夫でしょうか?

A 心房細動により有名なプロスポーツ選手が重篤な脳梗塞を発症したことを覚えている方も多いと思います。しかし、実は脳梗塞よりも心不全の方がより命を落とす可能性が高い病態です。脳梗塞に対しては、新しい抗凝固薬の登場により、安全に血栓予防ができるようになりました。抗凝固薬は腎機能や体重の変化、貧血の進行の有無を確認しながら、容量の調整が必要です。主治医の先生と相談しながら治療を継続しましょう。現在の心房細動患者さんの死亡原因の第1位は心不全や不整脈になっています。その比率は実に46%にも上りますが、加えて高血圧があることで病態は更に悪化することが判っています。少なくとも収縮期血圧136mmHg未満に管理することで、血栓塞栓症や大出血を防ぐことができると言われていますので、決められたお薬をきちんと服用し、血圧の管理も怠らないようにしましょう。